

東証一部（証券コード 6848）

アナリスト・機関投資家向け 会社説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2021年7月6日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 2020年度の振り返り**
- 3. 2021年度の取り組み**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

1. 会社概要

2. 2020年度の振り返り

3. 2021年度の取り組み

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結 571名 単独 381名

事業所：
▶狭山市：狭山テクニカルセンター
(開発研究センター、
医療関連機器生産棟)
▶東大和市：東京エンジニアリング
センター

営業拠点： 国内11か所

連結子会社： 国内4社

略歴

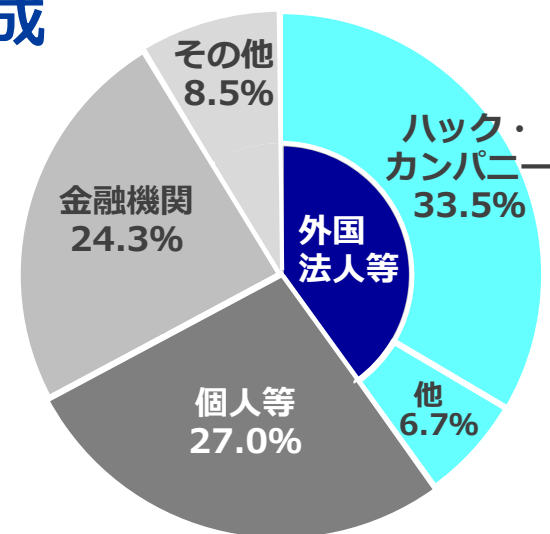
2000年 東亜電波工業と電気化学計器 (DKK) が合併し、東亜ディーケーケー 誕生

2005年 米国ハック・カンパニー (HACH) と業務・資本提携

2013年 東証第一部指定銘柄

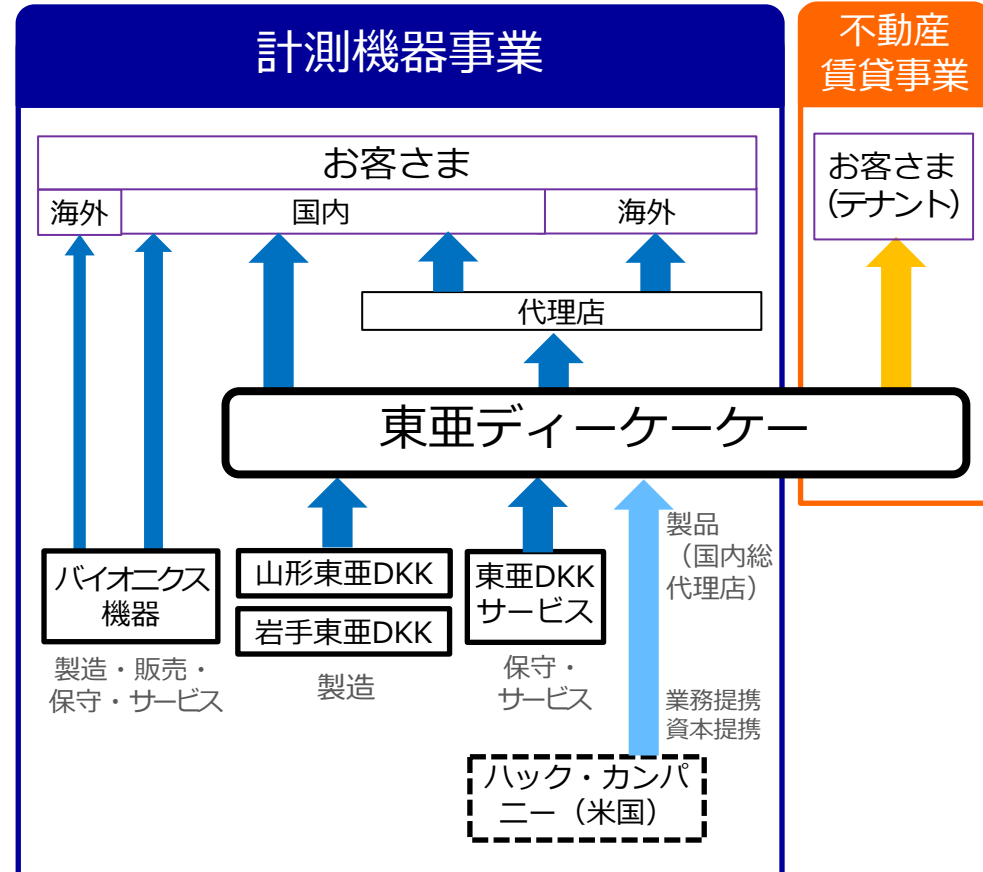
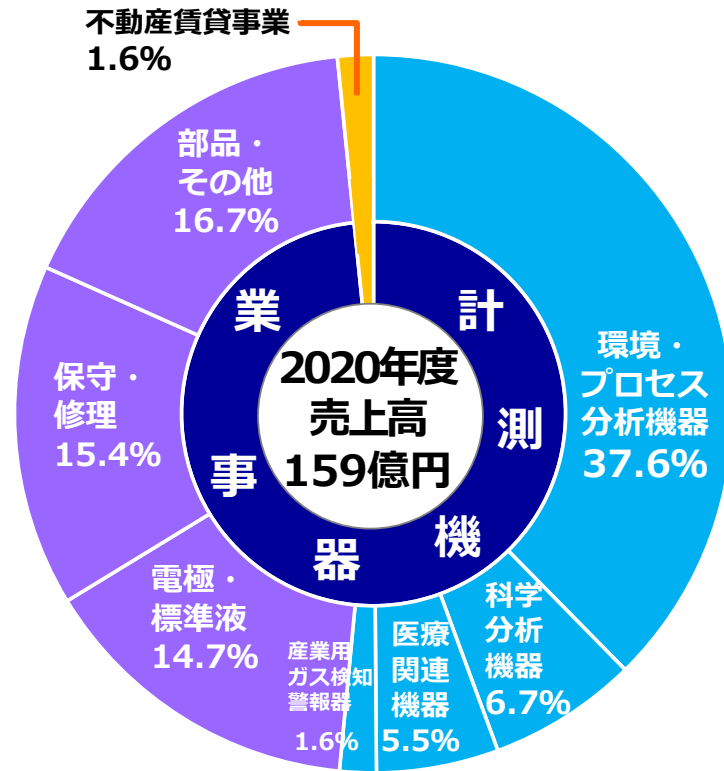
2014年 創立70周年

株主構成



(2021年3月末現在)

売上構成と事業系統



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水		大気	医療	ガス
環境・プロセス分析機器 <p>水道水用水質自動測定装置</p> <p>全窒素全りん計</p> <p>pH計</p> <p>電気伝導率計</p> <p>油膜検知器</p>		<p>PM2.5測定装置 国内シェアNO.1</p> <p>大気SO₂SPM測定装置</p>	医療関連機器 <p>透析用薬剤溶解装置</p> <p>エンドトキシン計</p>	産業用ガス検知警報器 <p>ケミルミアルシン計</p>
科学分析機器 <p>ラボ用水質計</p> <p>ポータブル用水質計</p>				

1. 会社概要

2. 2020年度の振り返り

3. 2021年度の取り組み

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

- **売上高：コロナ禍により国内売上が低迷し減収**
 (国内) 官公需は例年並みも、民需の低迷を受け減収
 (海外) 経済活動再開により中国・韓国で需要が回復した他、半導体関連設備投資の好調な台湾向け販売が順調に推移し増収
- **利益：営業利益は経費の低減により微増、経常利益は微減、当期純利益は6期連続で最高益を記録**
 ☞ 単月黒字化**139か月**連続記録更新中 (2009年9月から11年7か月)

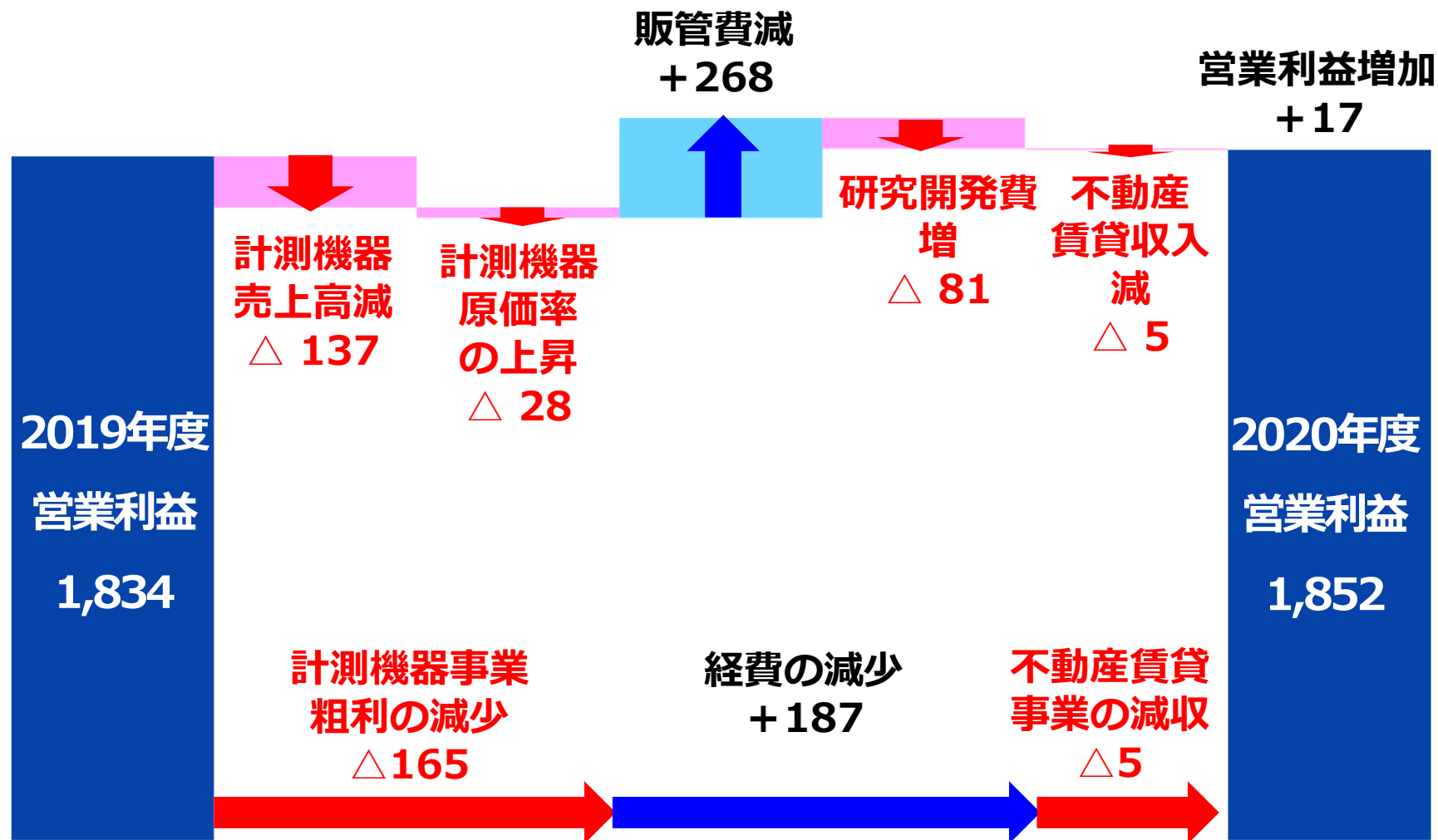
(単位:百万円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	16,349	15,988	△360	△2.2%
営業利益 売上高比	1,834 11.2%	1,852 11.6%	17	+1.0%
経常利益 売上高比	1,918 11.7%	1,907 11.9%	△11	△0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,369 8.4%	1,374 8.6%	4	+0.4%

営業利益増減分析（前期比）



(単位:百万円)

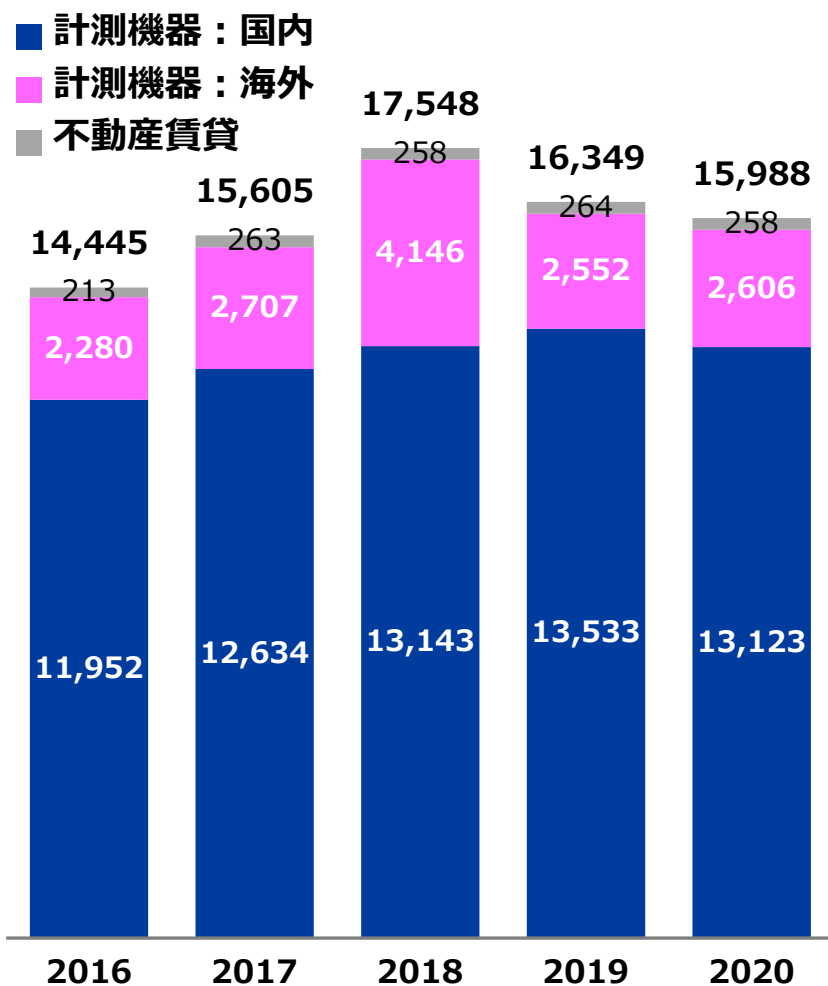


国別売上高推移

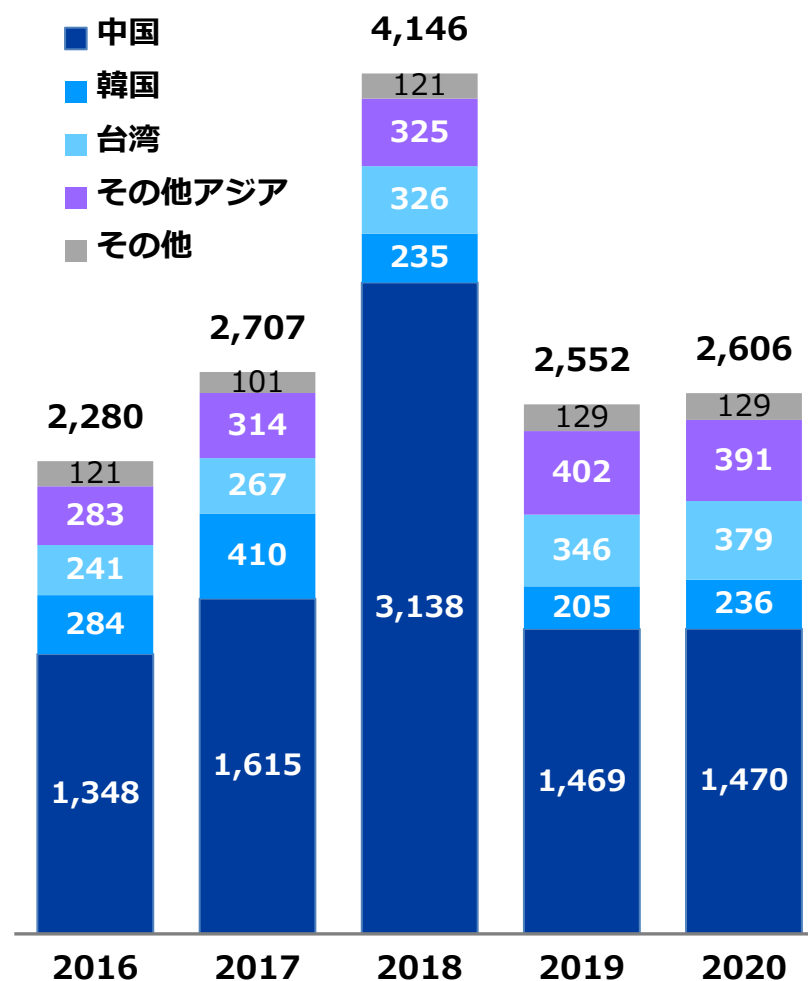


(単位:百万円)

国内外の売上高



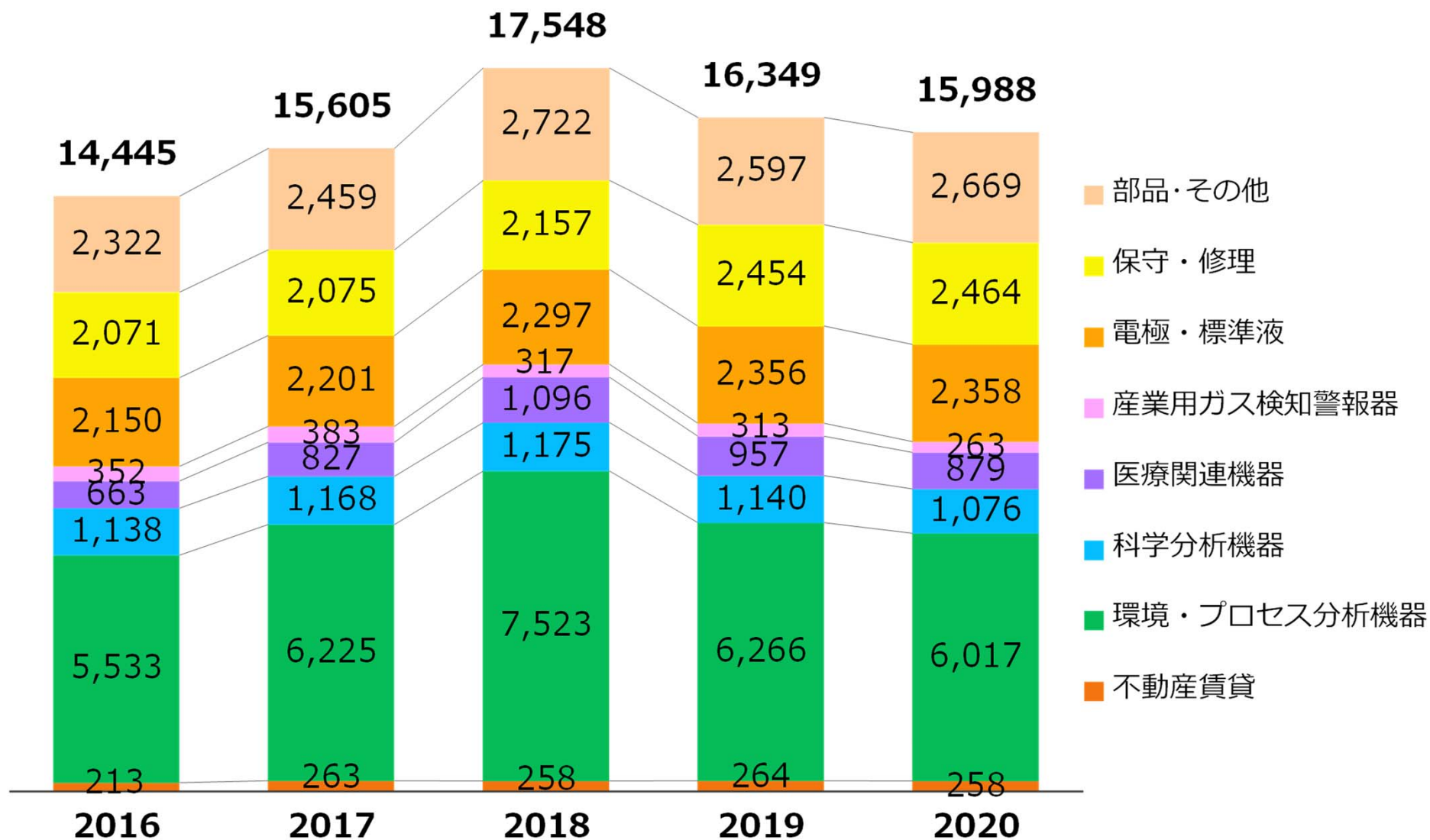
海外の国別売上高



分野別売上高構成推移

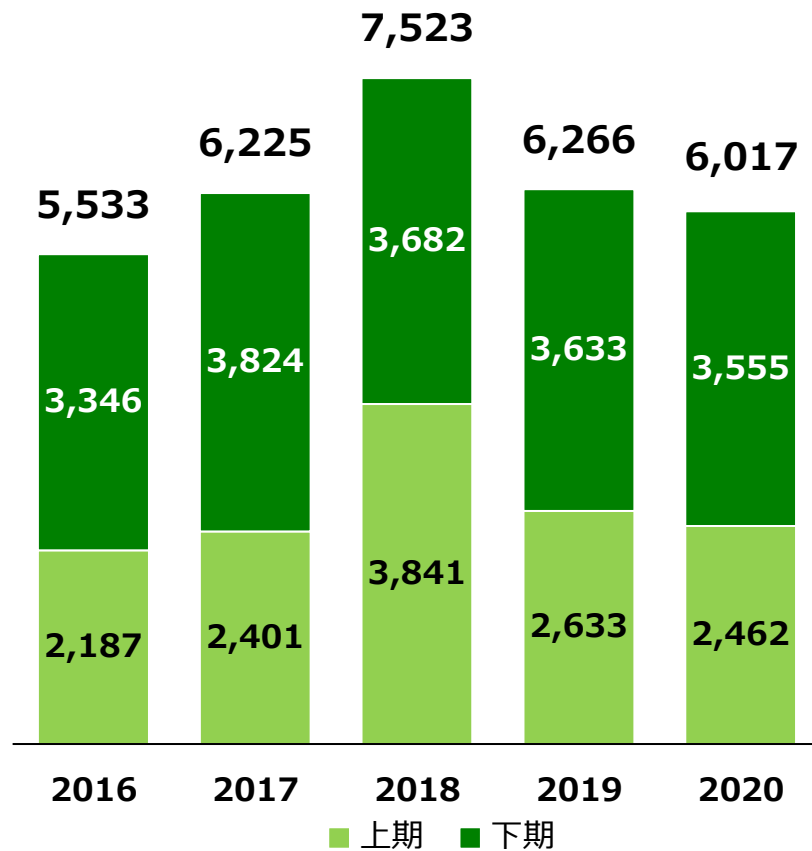


(単位:百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前期比

(2019年度 vs 2020年度)

△4.0%

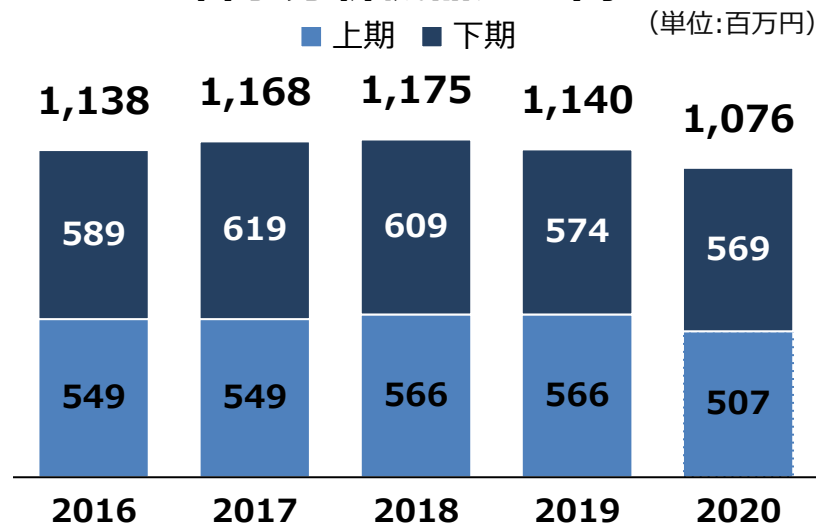


- 国内：官需向け売上確保（上下水道用分析計）、民需向け販売減少（基本プロセス分析計、環境用水質分析計）
- 海外：経済活動を再開した中国・韓国や半導体関連設備投資の好調な台湾向けが堅調



- 国内：前期並みの売上を確保
- 海外：インドへの販売が好調

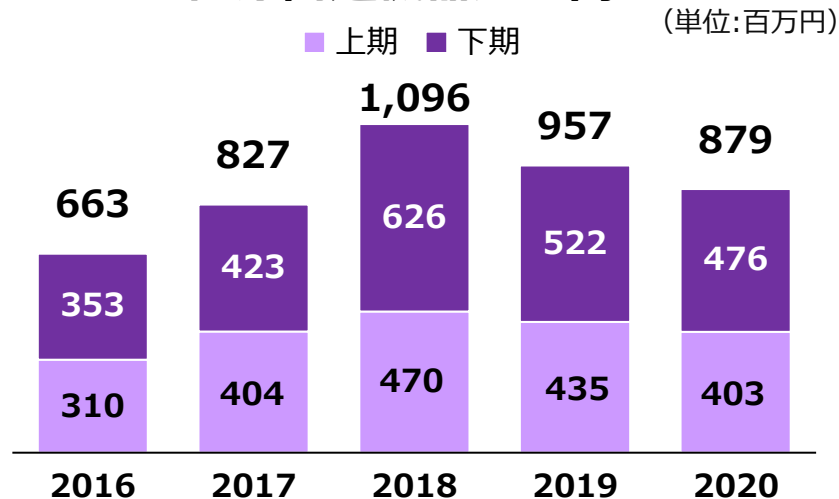
科学分析機器売上高



■ 前期比 $\triangle 5.6\%$
(2019年度 vs 2020年度)

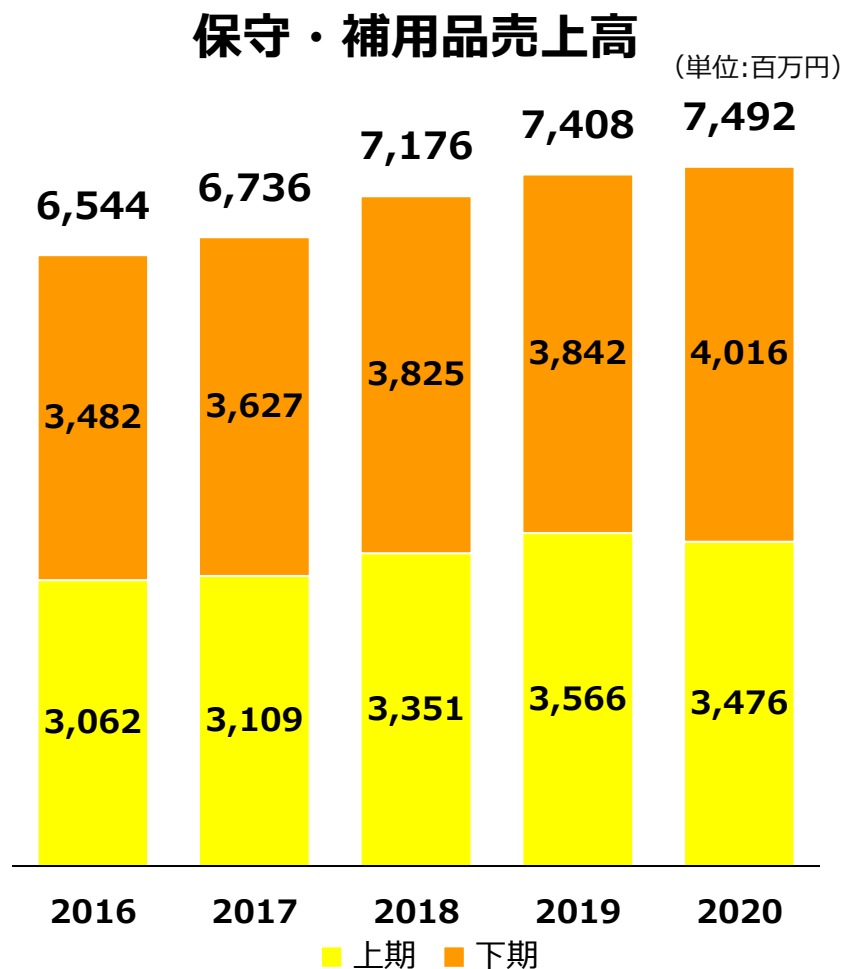
- 大学など研究機関からの引き合いが弱く減収

医療関連機器売上高



■ 前期比 $\triangle 8.1\%$
(2019年度 vs 2020年度)

- 病院の新規・買い替えが、新型コロナウイルス対応で先送りされ需要が減少
- ☞ 透析システムメーカーの海外展開を後押し



■ 電極・標準液	前期比 (2019年度 vs 2020年度)	+0.0%
■ 保守・修理	前期比 (2019年度 vs 2020年度)	+0.4%
■ 部品・その他	前期比 (2019年度 vs 2020年度)	+2.8%

- コロナ禍においても設備稼働維持のための定期点検がほぼ計画通り行われ、保守・修理、部品は増収
- 全体では前期比1.1%増

1. 会社概要
2. 2020年度の振り返り
- 3. 2021年度の取り組み**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

<国内>

新型コロナウイルス感染症の終息には不透明感があるものの、設備投資は回復基調が続くと予想し、eコマースの立ち上げなどデジタルマーケティングの推進やアフタービジネスの強化により拡販

<海外>

中国の既存・新規分野での拡販及び、東南アジアを中核とする売上拡大

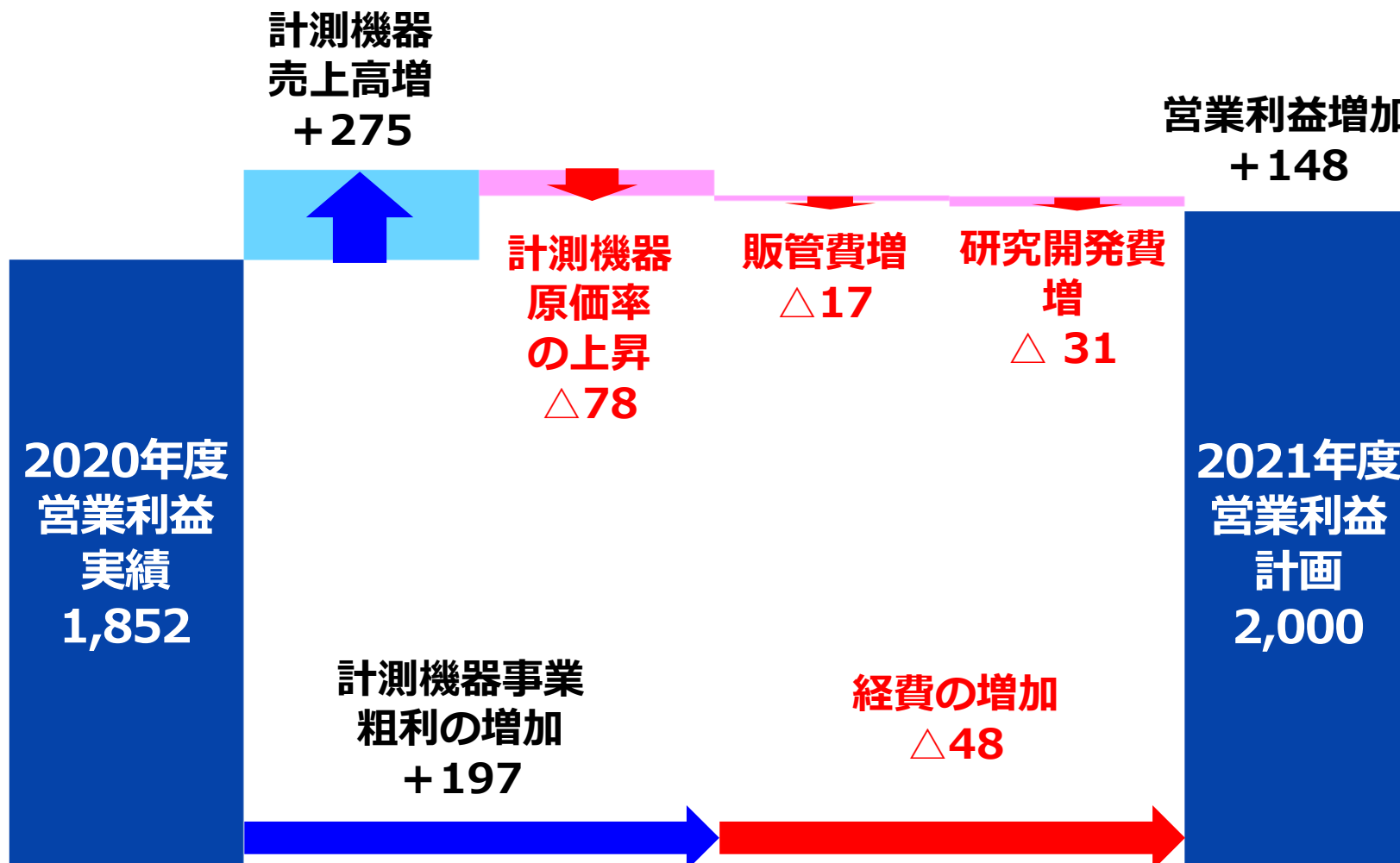
(単位:百万円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 計画	前期比増減	
				金額	率
売上高	16,349	15,988	16,700	711	+4.4%
営業利益 売上高比	1,834 11.2%	1,852 11.6%	2,000 12.0%	147	+8.0%
経常利益 売上高比	1,918 11.7%	1,907 11.9%	2,060 12.3%	152	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,369 8.4%	1,374 8.6%	1,440 8.6%	65	+4.8%

営業利益増減分析（計画）

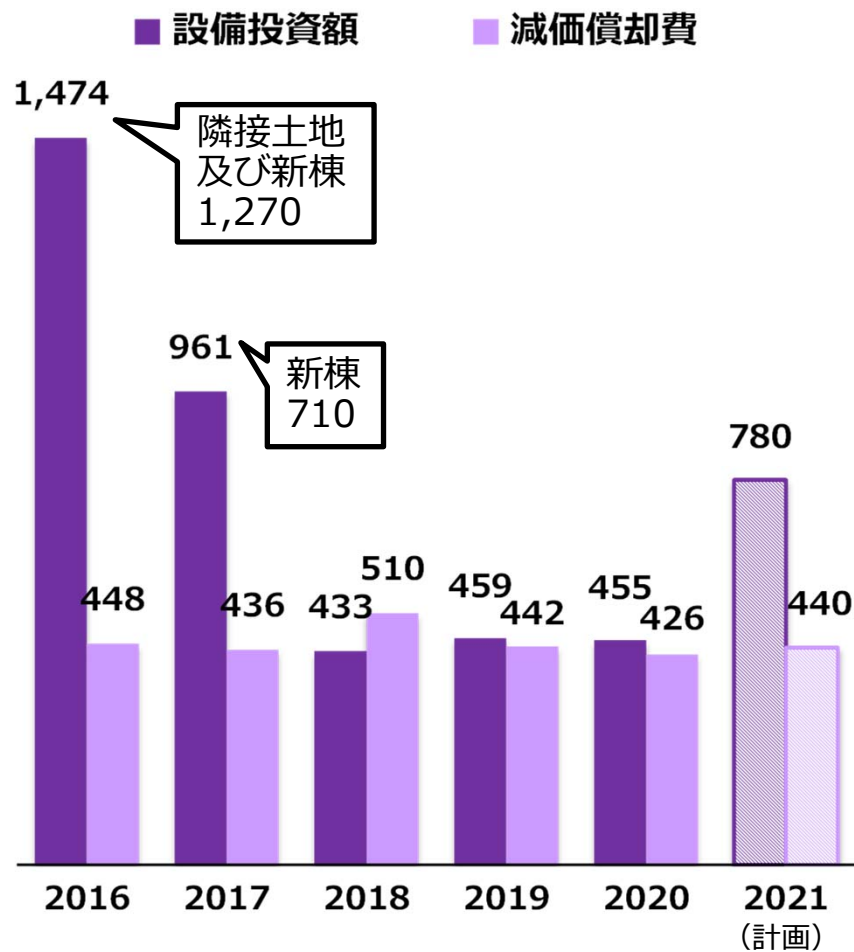


(単位:百万円)

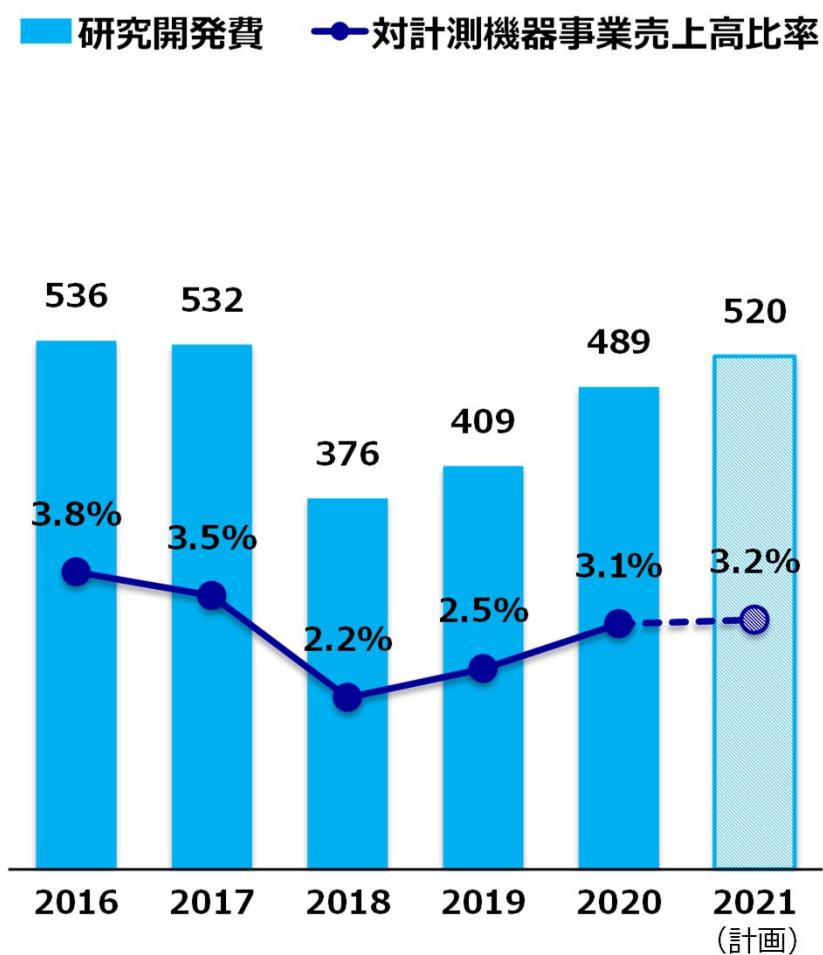


(単位:百万円)

設備投資・減価償却費



研究開発費

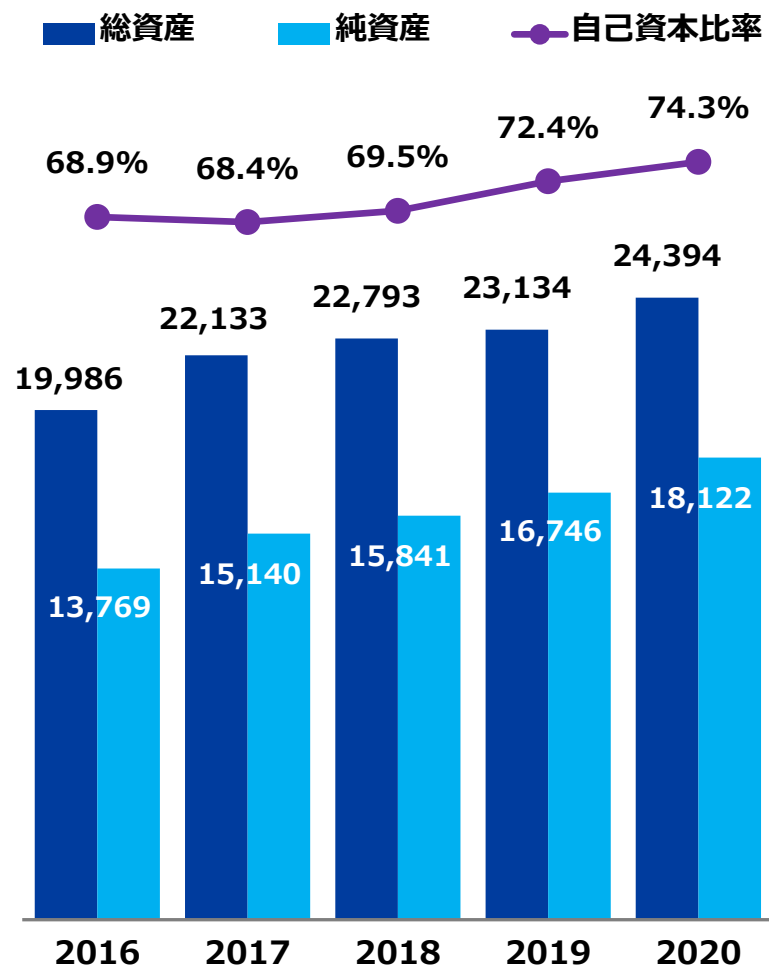


総資産／純資産・自己資本比率、ROE

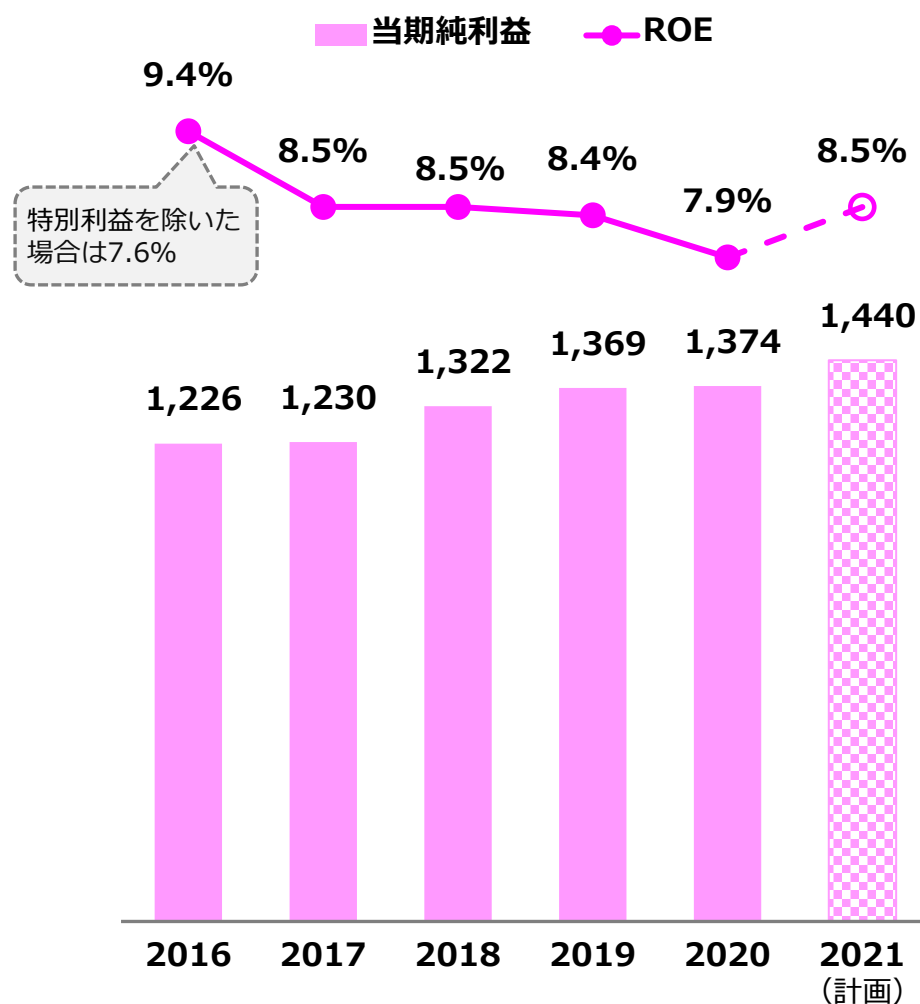


(単位:百万円)

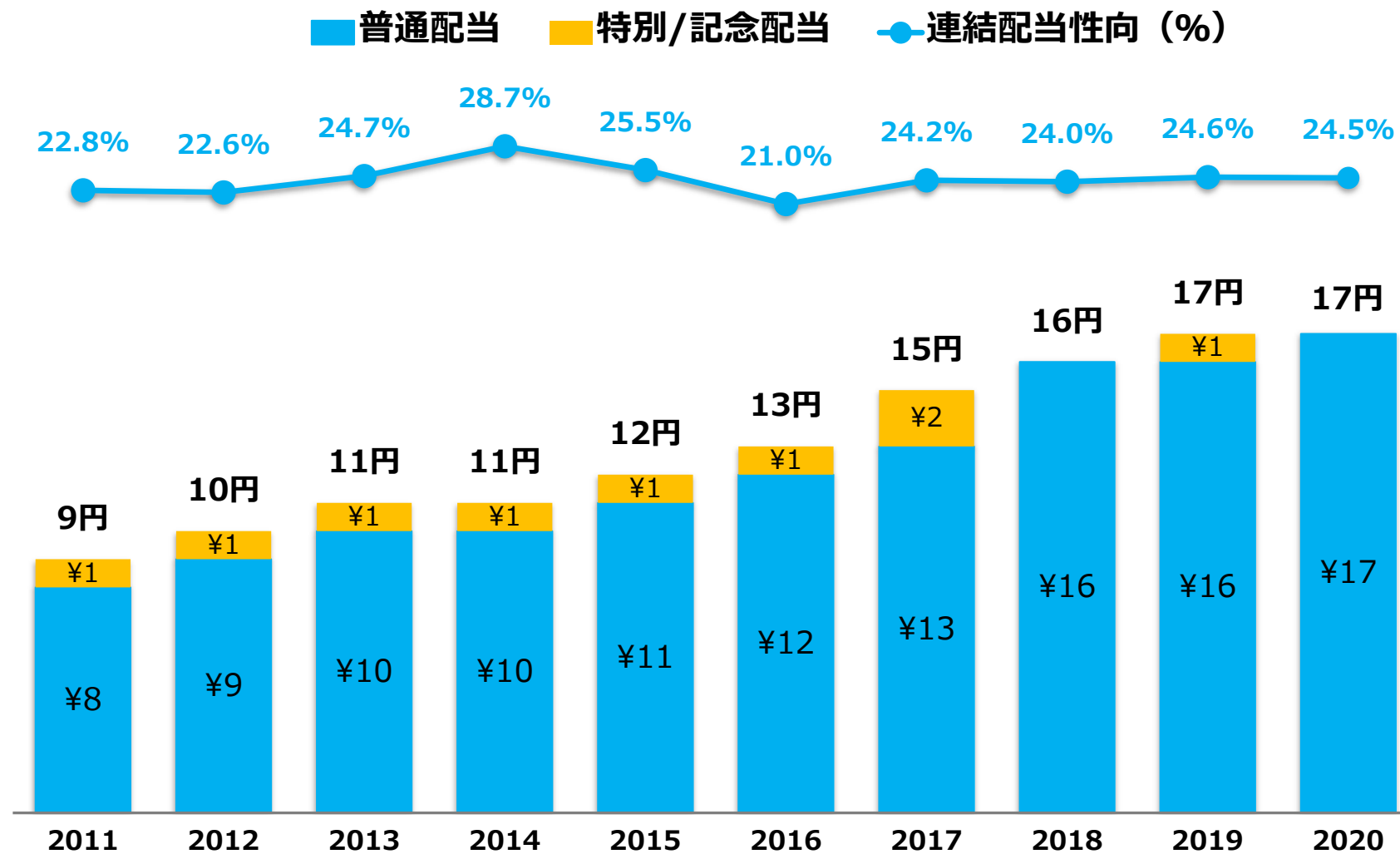
総資産／純資産・自己資本比率



当期純利益・ROE



1株当たり配当金推移



デジタルマーケティングの推進



デジタルセールスコンテンツ強化



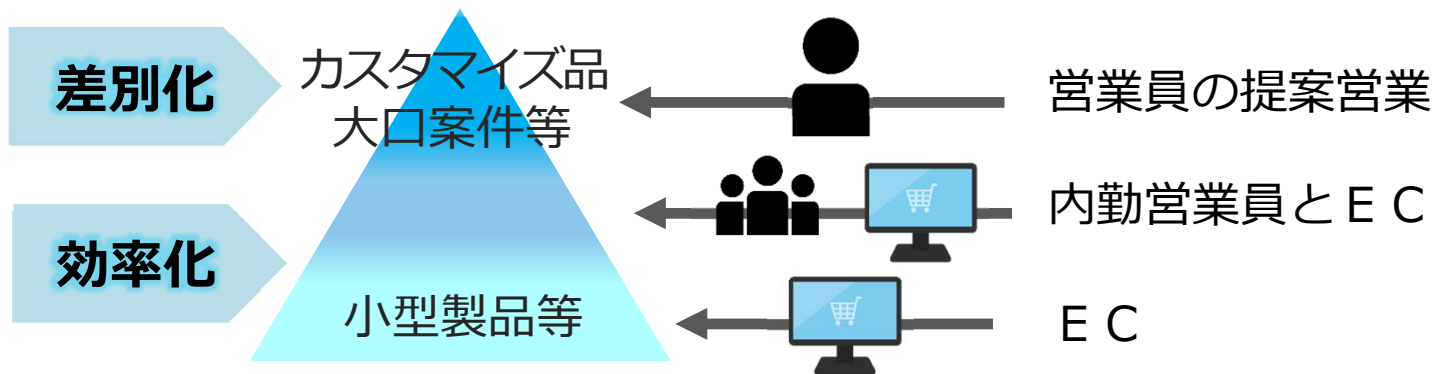
Webセミナー



公式YouTube
チャンネル
取扱い説明動画

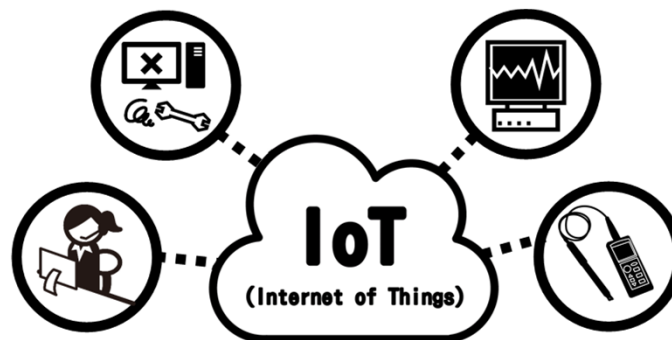


eコマース立上げ



アフタービジネスの強化

- ✓ 機器更新、保守契約の提案強化
- ✓ IoT活用で機器のリモート管理・サービス提供



顧客・市場のニーズを発掘し
収益基盤のさらなる安定化へ



環境保全（水・大気）

- 環境用水質分析計
（河川モニタリング等）
- 環境用大気分析計

環境用大気
測定装置



全窒素・
全りん
自動測定器



水道インフラ

- 水道水用分析計
- デジタルセンサ



デジタルセンサ



水道水用水質
自動測定装置

半導体製造・ 海水淡水化設備

- 基本プロセス計
- 排水用水質計

抵抗率計



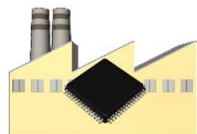
濁度計



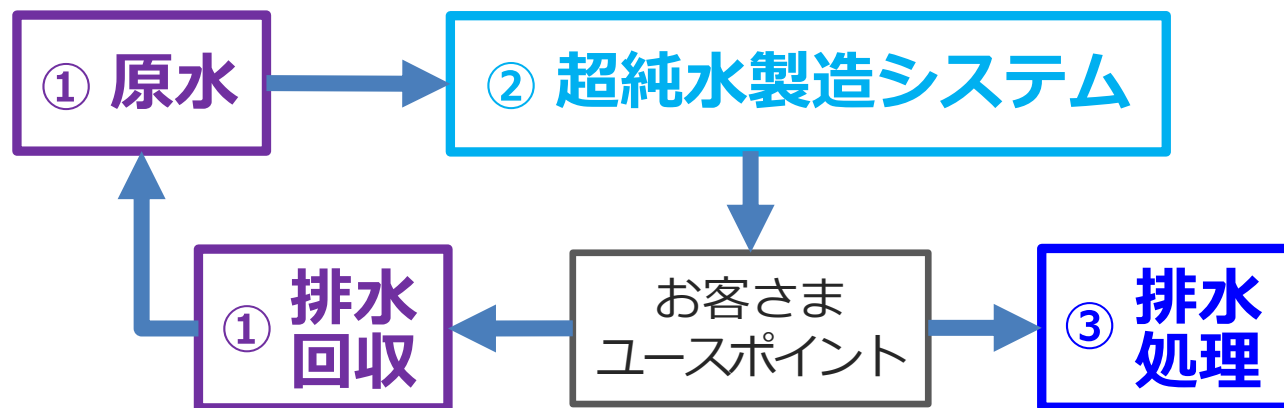
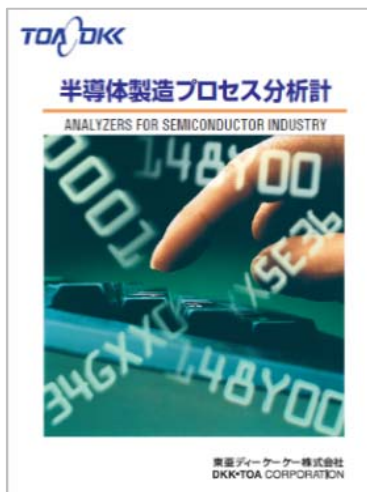
新分野 （医療など）

- 生化学センサ
- 脱炭素／新エネルギー
市場向け水質計





半導体製造設備の超純水供給フローと使用される水質計



① 原水・回収水管理用

- ・濁度計
- ・残留塩素計
- ・プロセス自動測定装置など

② 純水製造管理用

- ・抵抗率計
- ・電気伝導率計
- ・溶存オゾン計など



③ 排水監視・管理用

- ・COD計
- ・pH・ORP計
- ・フッ化物イオン計など



生産

- ✓ 生産拠点の最適化、生産自動化で品質&価格競争力UP
- ✓ コア部品の内製化で「モノづくりを磨く」



狭山テクニカル
センター



東京エンジニア
リングセンター



山形東亜D K K



岩手東亜D K K

開発

- ✓ 圧倒的なトップ製品の開発を加速
- ✓ 医療、脱炭素化など新分野への研究開発



一番手の企業に

脱炭素化

使用電力を100%再生可能エネルギーに切り替え



2020年4月～
本社を含む主要3事業場
2021年4月～
山形東亜DKK、岩手東亜DKK



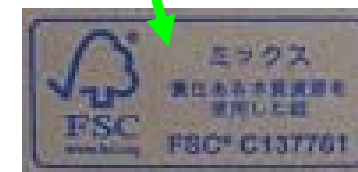
物流での環境配慮

エコ梱包への切り替え

緩衝材の紙化

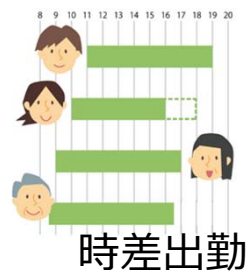


FSC認証
ダンボール箱



ワークライフバランス

多様な働き方の実現



健康経営「銀の認定」

グループで健康経営を推進



- ・2019年10月取得
東亜ディーケーケー
- ・2021年2月取得
山形東亜DKK
岩手東亜DKK
バイオニクス機器

関連データ：2020年度実績（単独）

勤続年数	男性18.0年	女性18.6年
年次有給休暇取得率	69.2%	
平均残業時間	5.1時間／人・月	
育児休暇取得率	女性100%	男性16.7%（1名）
育児休暇取得後の復職率	100%	
管理職に占める女性割合	10.5%	



ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部
メール：ir@toadkk.co.jp